

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ
〈語学・大学留学コース〉9月レポート
“フィンドレーでの日々”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、こんにちは。

フィンドレーから、9月レポートをお届けします。キャンパスにある木々は、少しずつその葉の色を変え、落ち葉が舞う季節となりました。

今回のレポートでは、授業をはじめとしたこちらでの生活について紹介します。

CONTENTS

1. 授業について
2. 授業以外の過ごし方について

1. 授業について

私は、IELP(Intensive English Language Program)コースで入学しました。学部での履修と異なり、既に履修する科目や時間は決められています。このコースは、学部生として授業を履修できるレベルまで英語力を向上させることを目指しています。時間割は以下の通りです。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
9:00-9:50	Composition	9:30-10:45 Grammar	Composition	9:30-10:45 Grammar	
10:00-10:50	Composition		Composition		Composition
11:00-11:50	Reading	11:00-12:15 Communication skills	Reading	11:00-12:15 Communication skills	Reading
12:00-12:50					
13:00-13:50	Listening	13:00-13:30 Guitar	Listening		Listening
14:00-14:50				14:00-15:00 Cultural Connections	
15:00-15:50					
16:00-16:50					
17:00-17:50		Japanese Films	Genki Kids		
18:00-18:50					

IELP コースで使用する教科書はオンライン上で申請し、学内にあるブックストアでレンタルすることができました。赤色で示した科目(Japanese Films, Genki Kids, Cultural Connections)は、“audit”(聴講)という形で受講しています。これは、規定の単位数をこえて履修してしまうと追加料金がかかってしまうためです。また、ずっと挑戦してみたかったギターのレッスン(マンツーマン)をとっています。ギターは、大学から歩いて15分ほどの、ダウントウンのギター屋さんで購入しました。他に、choir を履修している学生もいます。こちらはギターとは違って、週2回開講される科目のようです。

2. 授業以外の過ごし方について

こちらでは大学内外問わず、様々なイベントが開催されています。9月中に参加したものをいくつか紹介します。



アメリカンフットボールの試合の様子です

・IELP ツアー

主に IELP に所属する学生が参加し、Findlay の北に位置する Bowling Green へ出かけました。

Wintergarden Park では自然の中を散策し、Bowling Green High School ではアメリカンフットボールの試合を観戦しました。マーチングバンドのパフォーマンスも相まって、とても盛り上がりました。



多くのアトラクションがありました！

・Cedar Point

Kake Ambassador Program の一環として、Cedar Point へ行きました。ここへ行く場合は、キャッシュカードの用意をおすすめします。それは、ほぼ全てのお店がキャッシュレス対応だからです。このように、アメリカではキャッシュカードが必要だと言われていますが、下に示した German Festival は現金対応のお店が多かった印象です。キャッシュカードと現金、両方準備しておくとお安心です。



このお店は特に行列でした！
みんなビールを片手に楽しめます

・German Festival

ダウンタウンで行われた German Festival の様子です。ここでは21歳から飲酒ができるため、入場料金が21歳から変わります。私の後ろに並んでいた、明らかに21歳以上のおじいさんが”I'm twenty”と言って入場しようとしていて、入口にいたスタッフに”Good try”と言われていたことが面白かったです。Festival は多くの人でにぎわい、食べ物もとてもおいしかったです。



会場の1つがフィンドレー大学でした
食事をしながら、交流を楽しみました

・ Japan America Grassroots Summit in Ohio
アメリカと日本で毎年交互に開催されているイベントの会場が、今年はオハイオ州でした。太平洋沖で遭難したジョン万次郎と、彼を救出したウィットフィールド船長の友情は、200年近く経った今も彼らの子孫たちの手で大切に受け継がれ、こうした草の根レベルでの交流に多大なる貢献を果たしています。私は埼玉県代表として参加させていただきました。同じテーブルで話した方々、市長や学長の話からも、こうした交流の意義を改めて感じました。このような機会を活かし、埼玉県の代表として、生まれ育った地の魅力を積極的に発信していきたいと思います。

9月レポートはいかがでしたか？10月レポートもぜひご覧ください。

*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら
kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になればと思います。